

子どもたちこそ街の宝物！
藩祖・伊達政宗公の思いを受け継ぐ

「こくばん七タノート」

ご協賛のお願い

～仙台らしいワクワクに満ちた人財を育てるために～

2018年2月

こくばん七タノート・プロジェクト

「こくばん七夕ノート」企画全体像

[時代背景]

- ・少子高齢化、核家族化
- ・多様化する価値観
- ・余裕のない疲弊した社会
- ・人間関係性の希薄化
- ・夢や希望を見いだせない現状
- ・人工知能(AI)の発達
- ・情報の氾濫
- ・生きるチカラ教育の必要性 etc...

仙台の“独自の価値”創出

子どもたちこそ“街の宝物”

藩祖・伊達政宗公の「仙台七夕まつり」への思いを受け継ぐ



- 震災復興への願い
- 環境問題における価値の共有 (CSV)
- 産学連携強化による可能性
- 国際社会への貢献
- 人財育成

こくばん七夕ノート・プロジェクト始動!

「こくばん七夕ノート」とは？

授業の黒板を、そのまま再現できる
「こくばん七夕ノート」で、子どもの学び応援

- 【特徴】
- ➡ 復習が効果的にできる
 - ➡ 発表学習のツールとして有効
 - ➡ 学校・地域・家庭をつなげる
 - ➡ 先生・実習生の板書計画ノートにも

学校の教室の黒板にならって縮小した形状のノート。
先生が黒板に書いた内容を、思い出して再現することが出来ることにより、授業の学習活動全体の記憶が定着。効果的な学習のために、学校の先生、子ども教室や学童クラブでの指導者、保護者も活用できる。

しょうけい
監修：尚綱学院大学・松田道雄特任教授

子どもたちの
学習意欲が
向上

産学連携で
地域の可能性
が拡大

震災遺児
などの
学習支援

仙台七夕
吹き流し折鶴
再生使用

ノート使用材質

表紙の紙：『仙臺七夕祈織（いおり）2017』
本文の紙：日本製紙 上質紙

表紙用再生紙「仙臺七夕祈織（いおり）」とは？

市内185校の小中学生が折って展示した
88,000羽の折鶴吹き流しを利用した再生紙



- 【特徴】
- ➡ 復興への願いが込められている
 - ➡ 出来る再生紙の枚数に限りがある
 - ➡ 世界でたった1枚の紙
 - ➡ 仙台に対する藩祖・伊達政宗公の思いを継承

仙台ならではの
七夕まつりの
折鶴再利用

震災復興
への思いを
継続・再生

希少価値
唯一無二

環境問題の
価値を共有
(CSV)

CSRからCSVへ

Creating Shared Value = 【社会的価値の共有】
企業は事業を通じて社会的課題を解決することが必要であるという考え方

本プロジェクトの付加価値

「こくばん七夕ノート」を作ることが目的ではなく
子どもたちの学びを応援し、仙台の地元愛と絆を育むことにある

震災復興の願いをカタチにする

たくさん子どもたちが一所懸命
折った鶴に込められた思いを
「こくばん七夕ノート」で再生する

震災遺児、生活困難家族児童 などの学習支援

売上の一部を「仙台ユネスコ協会」
などに寄付を行いながら、地域の宝
である子どもたちの学習支援を、学
生たちと一緒にっていく

環境問題における 社会的価値を共有する（CSV）

七夕3日間だけしか日の目を見ない
折鶴吹き流しの新たなる活用方法
提案、併せて七夕かざりの竹を加工
し再生する「七夕竹紙」使用も模索

産学連携強化による 地域のアイデンティティ確立

大学・用紙メーカー・企画印刷連携
により、地域に埋もれている新しい
可能性を発掘・編集し、地域活性化
に寄与する

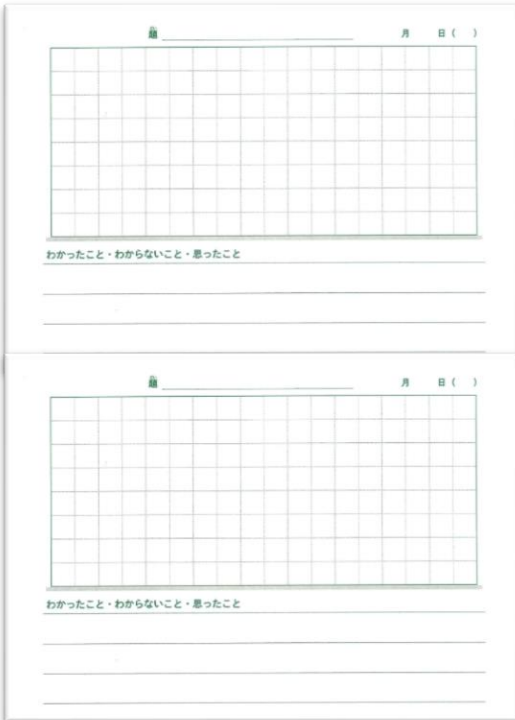
未来の仙台を担う人材の育成

地域全体で子どもの学びを応援する
＝地域の未来を担う人材育成
多くの方に積極的に関わってもら

企業協賛の具体的内容



24mm(低学年用)



【商品仕様】

- 学用3号 (252×179)mm
- 2種類の罫線マス
24mm(低学年用)／10mm(中高学年用)
- 糸綴じ製本 32枚 (64ページ)
- 価格: 1冊200円

3.11
オフィスベンダー
店頭販売開始

【企業協賛】

1口 50,000円

※1企業何口でも協賛することができます

※1口あたり商品2種類1セット(400円)を
125セット(50,000円相当分)を進呈いたします

※ご不明な点は、何なりとご質問ください

お申し込み・お問い合わせ

ノート開発者

松田 道雄

しょうけい
尚綱学院大学・エクステンションセンター特任教授

共同開発企業

鳴海屋紙商事株式会社

仙台市若林区卸町2-14-5 代表取締役社長 菅谷宗和

株式会社 孔栄社 【「こくばん七夕ノート」商標登録出願中】

仙台市青葉区立町16-13 代表取締役 佐藤克行

お申し込み
お問い合わせ

株式会社 孔栄社 (こうえいしゃ)

TEL.022-262-4545

koueisha@k-koueisha.co.jp

孔栄社 仙台

検索

メール・WEB・FAX
24時間受付中

〒980-0822 仙台市青葉区立町16-13 / FAX.022-216-4176
(担当:佐藤祐規)

「こくばん七タノート」の企画にあたって

大人たちがワクワクし、子どもたちを街ぐるみで育てる
そんな地域の「絆づくり」のきっかけにしたい！

「今の子どもたちはゲームばかりやって…」 「近頃の若いヤツは礼儀を知らない」 「一緒にいるのにスマホばかり見て…」 そんな風に**嘆く近頃の大人**たち。その**原因**は子どもたちにあるのではなく、もちろん**私たち大人**にあります。

景気の低迷や社会情勢不安の中、成果や効率化ばかりが求められ、産業革命以来と言われる情報化社会に懸命に対応し**疲れ切っている大人**たち…。子どもや若者を嘆く前に、私たち大人こそが元気になる必要があります。

街の独自の価値を見出し、**街の宝物である子どもたち**を街ぐるみで育て、**笑顔あふれる豊かな社会**にしていくために、そして**地域の絆**を強めていくために、まずは**大人たちがワクワク**していなければなりません。

今できること、この街でできることを、ひとつひとつ**実践**していく…それが「**こくばん七タノート・プロジェクト**」をスタートのきっかけです。

本企画趣旨に、ぜひとも**ご賛同**たまわりますよう心よりお願い申し上げます。

2018年2月吉日

【こくばん七タノート・プロジェクト】

しょうけい

尚綱学院大学 エクステンションセンター特任教授 松田道雄

鳴海屋紙商事(株) 代表取締役社長 菅谷宗和

(株)孔栄社 代表取締役 佐藤克行